

授業科目名・形態	介護過程Ⅴ 講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	山田 克宏	開講期	3年 前期	単位数 2

【授業の主題】

本人の望む生活の実現に向けて生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考を学ぶ。介護過程Ⅲ・Ⅳ及び他の科目で学習した知識や技術を結合して、介護過程を展開し、介護計画を立案した適切な介護サービスの提供ができる能力を養うことを目的とする。ケアマネジメントは、地域生活における自立した生活が困難になったとしても、医療・保健・福祉などのさまざまな社会サービスを利用することで、「その人らしい生活」の継続ができるように支援する仕組みである。ここでは、介護過程とケアマネジメントの関係性、利用者の生活と介護過程の展開について学ぶとともにチームアプローチの必要性・重要性について学習する。

【到達目標】

- 1) 実践的で介護過程を展開し、介護計画を立案して適切な介護サービスの提供できるようになる。
- 2) チームアプローチの必要性・重要性が理解できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 介護過程とチームアプローチ①ケースカンファレンス
- 第 2回 介護過程とチームアプローチ②介護過程とケアプラン
- 第 3回 介護過程とチームアプローチ③他職種との連携介護過程の意義・目的・目標
- 第 4回 チームアプローチの実際
- 第 5回 情報収集とアセスメント
- 第 6回 生活支援の課題と目標のとらえ方
- 第 7回 介護計画作成のプロセス（計画・実施・評価）①
- 第 8回 介護計画作成のプロセス（計画・実施・評価）②
- 第 9回 入所施設における介護過程の展開と実際
- 第10回 在宅における介護過程の展開と実際
- 第11回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開①
- 第12回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開②
- 第13回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開③
- 第14回 個別事例で考える利用者の生活と介護過程の展開④
- 第15回 講義のまとめ

【授業実施方法】 講義

【授業準備】

あらかじめ事例等をよく読み、どのような支援が必要なのか考えておくこと

【主な関連する科目】

介護総合演習、介護の基本

【教科書等】

介護過程（新・介護福祉士養成講座9 中央法規）

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

演習への取り組み（20%）、レポート試験（80%）による総合判定。

【学生へのメッセージ】

ケアマネジメントにおけるチームアプローチについて思考してほしい。